

第六次鳥羽市総合計画 後期基本計画の策定等について

1

総合計画後期基本計画の策定の概要

後期基本計画の策定のポイント

ポイント1：総合計画と総合戦略の一体化

- 総合戦略が目指す「人口減少や地域課題の解消等」は、総合計画において定める政策の柱に包含されるものであるとともに、両計画は、社会環境の変化を的確に把握し、中長期的な将来を見据えた持続可能なまちづくりを推進していくという点で一致。
- R6年答申や一体化による効果（※）が期待できることも踏まえ、総合計画と総合戦略を一体化。

※ 一体化によって期待できる効果

- ① 将来像に向けた長期的な取り組みと地方創生施策が整合を保つことで、まちづくりの方向性がより明確になるとともに、住民や関係者との合意形成がスムーズになる。
- ② 計画策定や効果検証等の一連の作業の重複を解消できることで、効率的な運営管理が可能となる。
- ③ 国や県の支援策と本計画に位置付ける事業との連携が図られることで、交付金等の活用が容易となる。

ポイント2：基本構想に基づいた施策体系・評価指標の適正化

- 従前の施策体系は項目の細分化されてるところ評価・検証の負担が生じているとともに、複雑であるとの指摘がなされていた。
- これまでの意見や社会情勢の変化等を踏まえ、あらためて基本構想に基づいて施策体系と評価指標を整理統合し、適正化を図った。

ポイント3：ご意見や新市政を踏まえた施策展開の再整理

- 前期基本計画の施策展開をベースに、これまでのご意見や新市政の方針（※）、社会情勢の変化等も踏まえ、施策展開について再整理を行った。

※ 主な新市政の方針

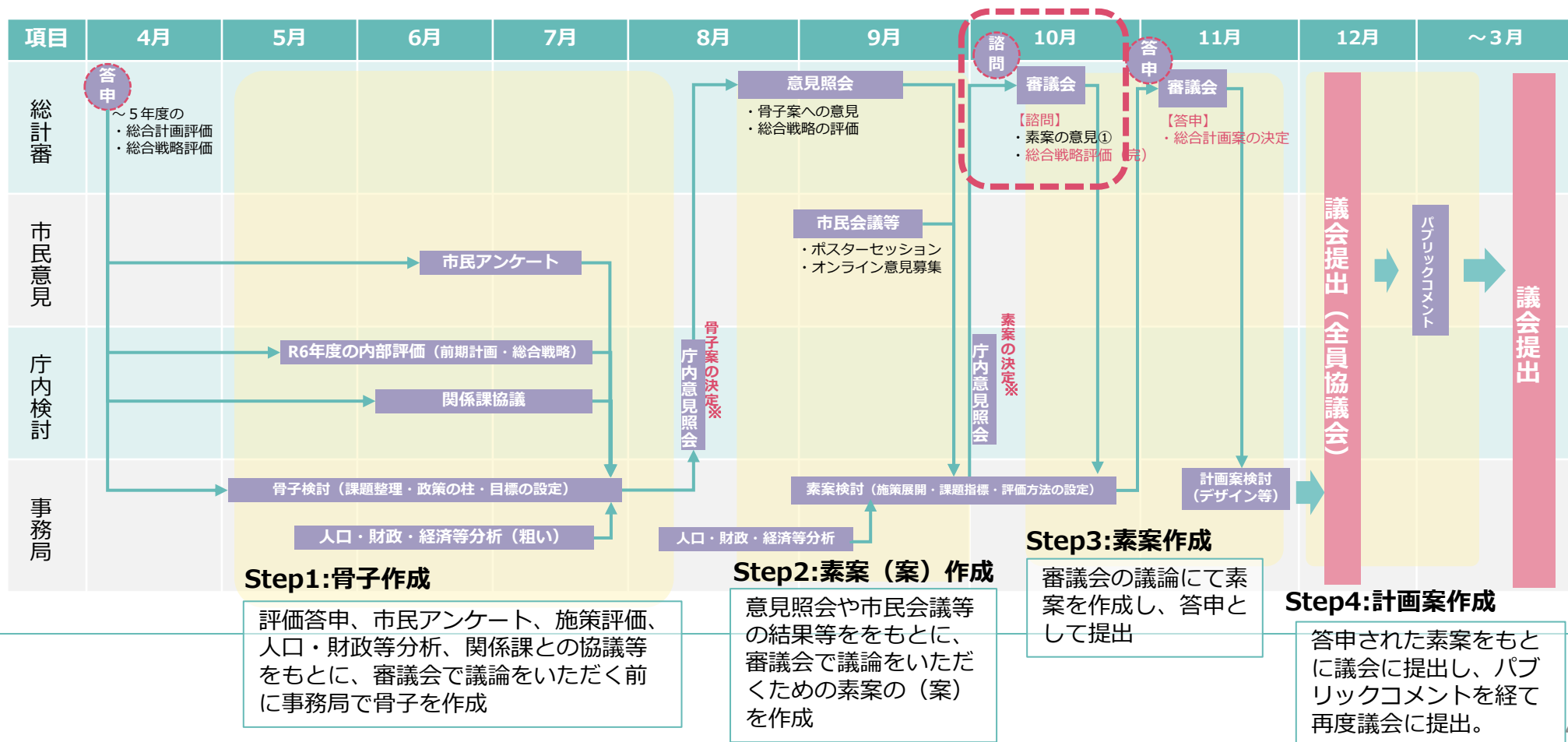
鳥羽駅周辺エリアの活性化や市民の森公園のインクルーシブ化、市役所のDX推進など。

(再掲) 第六次鳥羽市総合計画後期基本計画策定スケジュール

目的

- 第六次鳥羽市総合計画基本構想で示された将来像「誰もがキラめく鳥羽 海の恵みがつなぐ鳥羽」の実現のため、前期基本計画の評価をもとに今後取り組むべき施策を検討し、後期基本計画として取りまとめる。なお、まち・ひと・しごと創生法に定める本市の総合戦略が同じく計画期間満了を迎えるため、その基礎となる人口ビジョン（平成27年策定）も包含した総合戦略と一体的な計画として策定する。（計画期間：令和8年度から令和12年度まで、5か年）

策定スケジュール

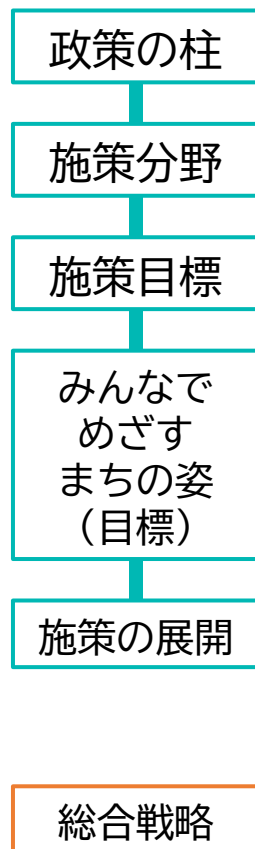


2

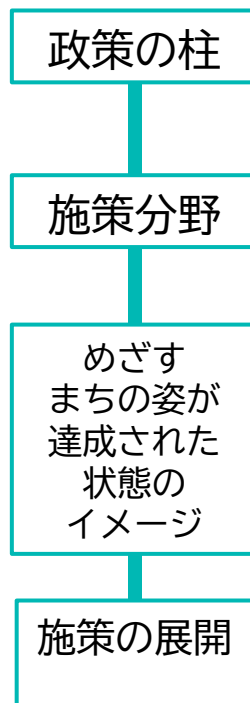
前期基本計画からの主な変更点

(1) 施策体系の変更

前期基本計画の体系



後期基本計画の体系

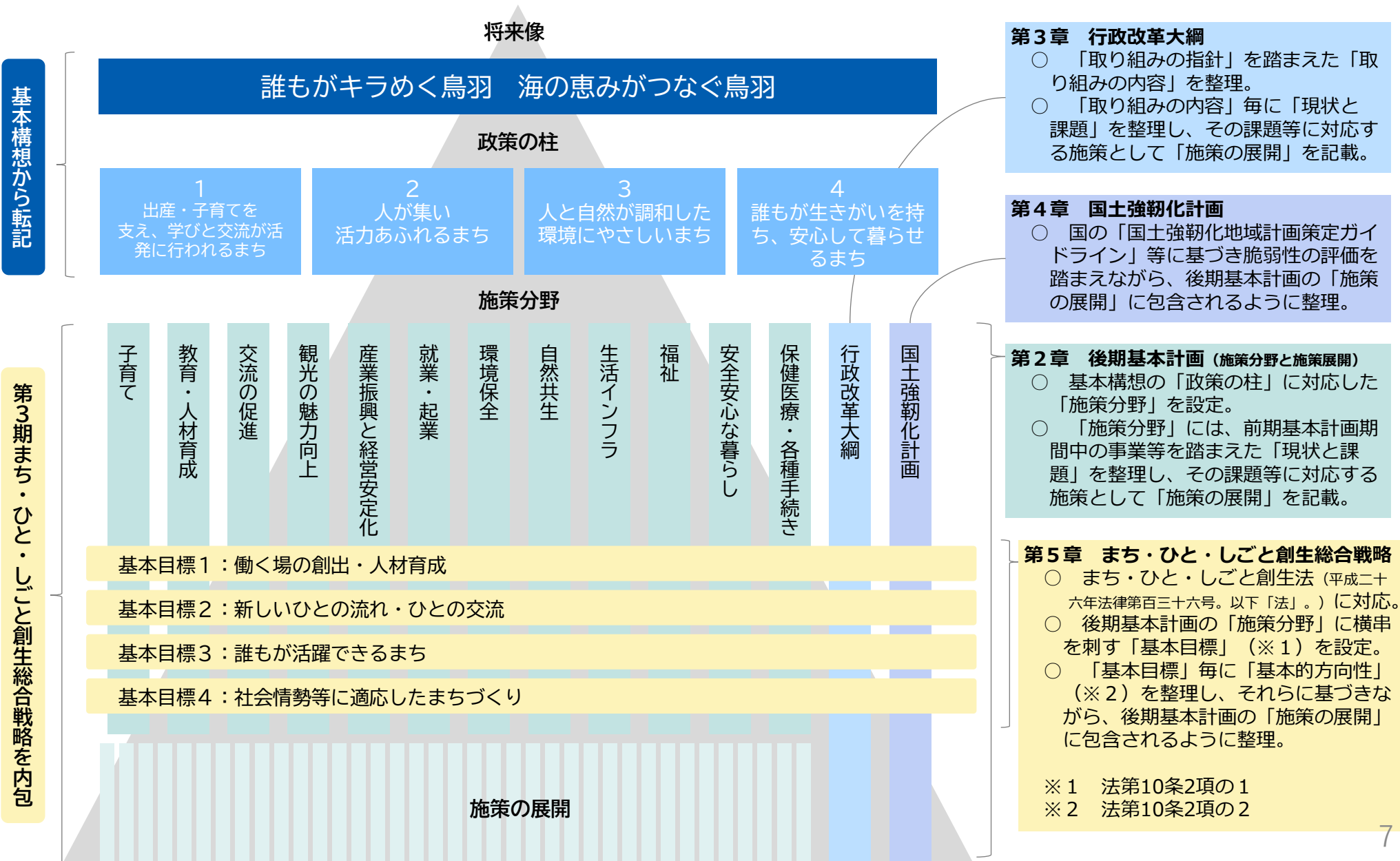


「施策分野」と「施策目標」を統合し、「施策分野」として整理しました。

基本構想に記載されている「めざすまちの姿が達成された状態のイメージ」に統一しました。

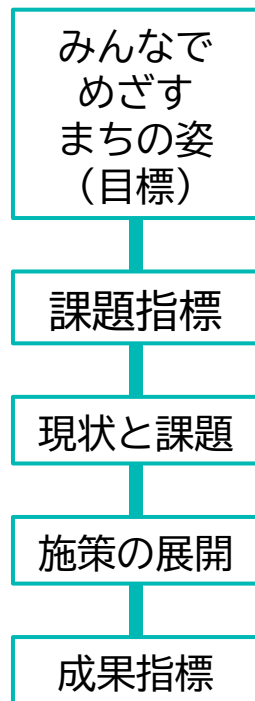
総合戦略について「施策分野」に横串として統合し、各個別事業は「施策展開」に包含するように整理しました。

後期基本計画の施策体系

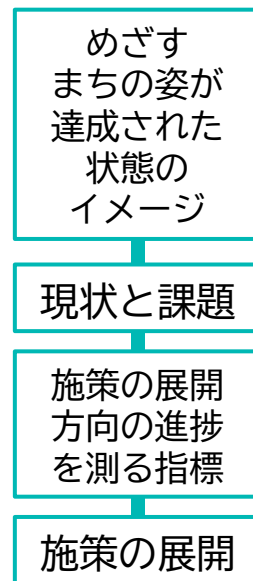


(2) 指標と施策の展開の変更

前期基本計画の指標



後期基本計画の指標



評価検証を行うことで、施策の進捗状況をしっかりと把握できる指標とするため前期基本計画の「課題指標」と「成果指標」を統合し、「施策の展開方向の進捗を測る指標」としました。

※「課題指標」は、めざすまちに向けて行政ではコントロールできないものの目指す方向を明示する必要がある指標で、「成果指標」は具体的な行政の取り組みの成果を測る指標です。そのため具体的な取り組みを通じて行政がコントロールできる性質のものを表しています。

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱1

出産・子育てを支え、学びと交流が活発に行われるまち

施策分野

【子育て】

前期基本計画		後期基本計画
楽しみながら子育てができる環境づくり	➡	②働く保護者と子どもを支える環境づくり
未来ある子どもを育む教育・保育の充実	➡	③保育・教育力向上と地域連携の強化
安心して毎日を過ごせる環境の充実	➡	④子どもの安全・安心を守る地域体制の構築
誰ひとりとして取り残されないサポート体制の推進	➡	①妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援の推進

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱1

出産・子育てを支え、学びと交流が活発に行われるまち

施策分野

【教育・人材育成】

前期基本計画		後期基本計画	前期基本計画		後期基本計画
地域の魅力を伝える教育	➡	①ふるさと・地域資源を活かした学びの推進	快適な教育基盤をつくる	➡③	
地域とともに行う学校づくり	➡	③ I C T 活用と教育環境整備	人権施策・啓発の推進	➡	④人権尊重と多様性への対応
災害に強い学校づくり、人づくり			女性活躍とダイバーシティの推進		
確かな学力と意欲を定着させる	➡	②学力向上と国際理解教育の推進	国際的な文化に対する相互理解の醸成	➡②	
新しい学習課題への取り組み	➡③		生涯学習活動の充実	➡⑤	
豊かな心と健やかな体を育てる	➡	⑤生涯学習と文化振興の推進	図書館の充実		
			スポーツ活動に取り組める環境づくり	➡	⑥スポーツ振興と健康づくり

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱1

出産・子育てを支え、学びと交流が活発に行われるまち

施策分野

【交流の促進】

前期基本計画		後期基本計画
交流を実現するための快適空間づくり	➡	①公園・運動施設の魅力向上と多世代交流の推進
市民がつながる機会づくり		
交流人口・関係人口の増加	➡	③移住・定住促進と地域資源の活用
		②鳥羽駅周辺エリアの魅力創出と整備推進

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱 2

人が集い活力あふれるまち

施策分野

【観光の魅力向上】

前期基本計画		後期基本計画	前期基本計画		後期基本計画
鳥羽 うみの文化を守る・伝える	➡	①地域資源を活かした学びと情報発信の推進	持続可能な受入れ基盤の整備	➡③	
知りたいニーズに対応できる受け入れ体制づくり	➡	③景観・交通・案内機能の一体的整備による快適な観光空間の形成	交通結節の維持と移動利便性の確保		
戦略的なプロモーション	➡①		域内流通の促進	➡	④食と地域資源を活かしたブランド力向上と販路拡大
観光推進体制の充実	➡	②宿泊・観光施設の高付加価値化と安全・安心な観光地づくり	滞在型観光の充実	➡②	
眺望景観の保全	➡③		鳥羽ぎなかの価値向上、食の魅力拡充	➡④	
			地域資源を活用した商品開発と販路拡大		

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱 2

人が集い活力あふれるまち

施策分野

【産業振興と経営安定化】

前期基本計画		後期基本計画	前期基本計画		後期基本計画
水産資源の保全と漁業生産に関する技術指導	➡	①水産物ブランド化と研究拠点を中心とした地域振興	農業生産基盤の保全	➡	③農業支援による経営安定化
漁港施設の維持管理	➡	②漁業資源保全と担い手確保	農業の経営安定化		
漁業経営の安定化			農作物の鳥獣害対策		
生産現場と消費現場をつなぐ			中小企業の経営安定化	➡	④中小企業支援と産業振興
生産・流通施設の整備検討			次世代につなぐ時代の変化に則した経営の支援		

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱2

人が集い活力あふれるまち

施策分野

【就業・起業】

前期基本計画		後期基本計画
多様な形での働き手の増加	➡	①多様な働き方の創出と若年層・女性・高齢者の就業促進
多様な働き方や鳥羽の魅力を伝える	➡	②地元就職の促進
働きやすさのサポート	➡①	
起業支援	➡	③起業・創業支援による地域経済の活性化
		④観光関連産業における人材確保と職場環境整備

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱3

人と自然が調和したまち

施策分野

【環境保全】

前期基本計画		後期基本計画
地球にやさしいまちづくり	➡	①温室効果ガス削減と再生可能エネルギー導入
適正なごみ処理とごみの減量化	➡	②資源循環型社会と持続可能なごみ処理体制の構築

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱3

人と自然が調和したまち

施策分野

【自然共生】

前期基本計画		後期基本計画
森林の適正な保全	➡	①森林・自然環境の保全
生活排水対策の向上	➡	②生活排水・下水道の整備
海ごみの撲滅を目指す	➡	③海ごみ対策と広域的な環境保全

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱3

人と自然が調和したまち

施策分野

【生活インフラ】

前期基本計画		後期基本計画
空き家対策の推進	→	①空き家対策、まちづくりの推進
市営住宅の適正管理		
土地利用の適正化		
地籍調査の推進		
地域ぐるみで暮らしの環境を考える		
通学路危険箇所の改善	→	②道路の安全確保と利便性の向上
地域ニーズを踏まえた道路管理の充実		
幹線道路の充実		

前期基本計画		後期基本計画
安全・安心な水の供給	→	③水道事業の安全・安定供給
強靱でしなやかな水道		
健全で持続可能な事業経営		
		④公共交通の再編・利便性向上

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱4

誰もが生きがいを持ち、安心して暮らせるまち

施策分野

【福祉】

前期基本計画		後期基本計画	前期基本計画		後期基本計画
いきいきとした地域づくり	➡	①地域共生・多世代交流の推進	高齢者の権利擁護と尊厳の保持	➡	④成年後見制度・権利擁護の強化
多機関のネットワークづくり			相談支援体制の充実・地域で自立するための活動の場・働く場の確保	➡	③障がいのある人の自立支援と社会参加の促進
生活保障の確保			地域での生活を支えるためのサービスの充実		
みんなで支える介護保険	➡	②高齢者支援と介護予防の推進	ともに生きるために暮らしやすい環境づくり	➡④	
いきいきと活動している地域づくり					

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱 4

誰もが生きがいを持ち、安心して暮らせるまち

施策分野

【安全安心な暮らし】

前期基本計画		後期基本計画	前期基本計画		後期基本計画
防災対策（自助）	➡	① 防災力の向上と自助・共助・公助の推進	市民・事業者などの防火防災意識の向上	➡③	
防災対策（共助）			救急救助体制の充実	➡⑤	
防災対策（公助）					
福祉の防災対策の推進	➡	② 要配慮者への支援と福祉防災の推進	地域に合った移動手段を話し合う場づくり	➡	⑥ 持続可能な公共交通と移動支援の充実
観光地の防災対策	➡	③ 観光地・地域の特性を踏まえた防災対策	くらしの目的を達成するための一体的な交通システムの構築		
交通安全対策の推進	➡	④ 交通安全・防犯対策の推進	経営視点を入れた効率的な公共交通の運営		
防犯対策の推進			交通に頼らない暮らしを支えるサービスの充実		
消防力の整備充実	➡	⑤ 消防・救急体制の強化			

(3) 指標と施策の展開の変更

政策の柱4

誰もが生きがいを持ち、安心して暮らせるまち

施策分野

【保健医療・各種手続き】

前期基本計画		後期基本計画
健康づくりに関する意識の向上	➡	①健康づくりの推進
いざという時の受診体制を整える	➡	②地域医療体制の整備
信頼できる窓口業務	➡	③信頼できる窓口サービス
安心できる社会保障制度の運営	➡	④安心できる社会保障制度の運営

(4) 行政改革大綱の変更

現行計画の体系

I. 目的達成型の行政経営

II. 組織の充実と人材育成

III. 戦略的な情報発信

IV. 持続可能な行財政運営



次期計画の体系

近年の動向や鳥羽市の状況を踏まえ、体系を組み替えるとともに、細分化しました。

I. 多様な主体との連携、協働

- (1) 市民・団体との協働の推進／(2) 民間活力の積極活用
- (3) 広報・広聴機能の充実

II. 戦略的な行政運営

- (1) 組織マネジメントと人材育成、意識改革
- (2) 定型業務の効率化、デジタル技術の効果的な導入
- (3) 戦略的な人材確保の推進

III. 持続可能な経営力の強化

- (1) 健全な財政運営の推進／(2) 事務事業の効率化・最適化
- (3) 公共施設マネジメントの推進

(5) 国土強靱化地域計画の変更

現行計画の事前に備えるべき目標

1. 命の保護が最大限図られる
2. 救助・救急、医療活動等が迅速に行われる
3. 必要不可欠な行政機能を確保する
4. 必要不可欠な情報通信機能を確保する
5. 経済活動（サプライチェーンを含む）を機能不全に陥らせない
6. 生活・経済活動に必要最低限の電気、ガス、上下水道、交通ネットワーク等の確保と、早期復旧を図る
7. 制御不能な二次災害を発生させない
8. 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する



次期計画の事前に備えるべき目標

1. あらゆる自然災害に対し、直接死を最大限防ぐ
2. 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ
3. 必要不可欠な行政機能を確保する
4. 経済活動を機能不全に陥らせない
5. 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期に復旧させる
6. 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

(5) 国土強靱化地域計画の変更

「起きてはならない最悪の事態」の現行計画と次期計画の対応表

備えるべき目標	最悪の事態	次期	備えるべき目標	最悪の事態	次期
1. 命の保護が最大限図られる	建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊・火災等による死傷者の発生	1-1へ	2. 救助・救急、医療活動等が迅速に行われる	被災地での水・食料等、生命に関わる物資供給の長期停止	2-4へ
	広域にわたる大規模津波等による多数の死者の発生	1-3へ		離島を含む多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生	2-6へ
	異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水	1-4へ		被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	2-1へ
	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死者の発生	5-1へ		救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶	2-2へ
				観光客を含む想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者への水・食料等の供給不足	2-5へ
				医療施設及び関係者の不足・被災、支援ルートへの途絶による医療機能の麻痺	2-2へ

※「備えるべき目標」「最悪の事態」は現行計画の内容です。

(5) 国土強靱化地域計画の変更

「起きてはならない最悪の事態」の現行計画と次期計画の対応表

備えるべき目標	最悪の事態	次期	備えるべき目標	最悪の事態	次期
3.必要不可欠な行政機能を確保する	被災等による治安の悪化	3-1へ	5.経済活動（サプライチェーンを含む）を機能不全に陥らせない	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下	4-1へ
	信号機の全面停止等による重大交通事故の多発	3-1へ		基幹的陸上海上交通ネットワークの機能停止	5-5へ
	市の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	3-2へ		食料等の安定供給の停滞	4-4へ
4.必要不可欠な情報通信機能を確保する	電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止	5-1へ	6.生活・経済活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、交通ネットワーク等の確保と、早期復旧を図る	電力供給ネットワーク（発電所、送配電設備）や石油・LPGガスサプライチェーンの機能の停止	5-3、5-4へ
	災害情報が必要な者に伝達できない事態	5-1へ		上下水道等の長期間にわたる供給停止	5-4へ
				地域交通ネットワークが分断する事態	5-5へ

※「備えるべき目標」「最悪の事態」は現行計画の内容です。

(5) 国土強靱化地域計画の変更

「起きてはならない最悪の事態」の現行計画と次期計画の対応表

備えるべき目標	最悪の事態	次期	備えるべき目標	最悪の事態	次期
7.制御不能な二次災害を発生させない	住宅密集地での大規模火災の発生	1-2へ	8.地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態	6-3へ
	沿道の建物倒壊による直接的な被害及び交通麻痺	1-2、5-5へ		基幹インフラの損壊や道路啓開等の復旧を担う人材等（専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等）の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態	6-2へ
	有害物質の大規模拡散・流出	4-2へ		地域コミュニティの崩壊、治安の悪化により復旧、復興が大幅に遅れる事態	6-1へ
	風評被害等による市内経済等への甚大な影響	6-6へ			

※「備えるべき目標」「最悪の事態」は現行計画の内容です。

以下、参考

市民会議等の実施

目的

- 第六次鳥羽市総合計画後期基本計画の策定にあたり、市民の多様な意見やアイデアを収集・反映することを目的に、住民の主体的な参画を促進し施策反映を目指す。

実施時期

9月中
(素案の策定段階)

1. ポスターセッション

- 政策の柱や施策分野について記載したポスターを掲示し、その場で担当者が内容説明を行います。
- ポスターの内容や話を聴いて共感した・応援したい取組や、充実させてほしい取組にシールを貼っていただき、皆様のご意見を頂戴します。
- 具体的なご意見を書きたい方に関しては、付箋に書いて指定の場所に貼っていただきます。



(日時と場所)
9月5日(金) 10時～16時
鳥羽マリンターミナル

9月6日(土) 10時～16時
イオン鳥羽店催事スペース

(メリット)

- ▶ 計画の内容について説明し、理解してもらうことが可能。
- ▶ 意見に対してすぐ返答できるため、参加者の満足度も向上する。



ポスターのイメージ

施策分野ごとにどんなまちになってほしいか、そのためのアイデアなどを付箋に書いて貼っていただく

2. オンライン意見募集

- ご都合・ご事情によりポスターセッションへの参加が難しい方にもご意見をいただくため、オンライン意見募集ツール「Liqld」を活用した意見募集を行います。
- 本ツールには、ポスターセッションと同様の内容を掲載し、閲覧・意見投稿・他者の意見への共感等など自由な意見を投稿することが可能です。



(期間)
9月1日(月)～30日(火)

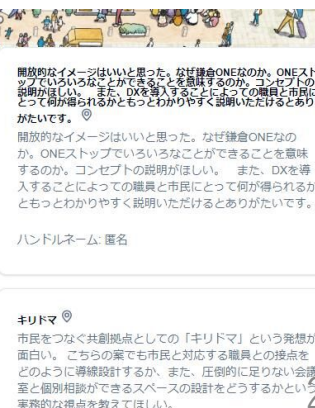
(URL)
調整中

(メリット)

- ▶ 年代や生活スタイルを問わず参加できる。
- ▶ 匿名のため意見を出しやすい。
- ▶ 障がい者や育児中の方など対面参加が困難な人も参加できる。



Liqldのイメージ(鎌倉市)



市民会議等（オンライン意見募集）

実施期間

9月1日（月）～9月30日（火）
※9月5日（金）、6日（土）にポスターセッションを実施

意見の数

延べ158件

（コメントの傾向）

①あなたの理想の鳥羽市はどんなまちですか。 （16件（うちポスターセッション4件））

- 市民が思い描く理想の鳥羽市は、観光振興に偏るのではなく、生活の利便性を確保しつつ、環境や福祉に配慮し、若者や子育て世代が定着できる持続可能なまちであることが分かります。
- 具体的には、マイクロバスなどの公共交通の充実や道路整備、規模のある病院や医療体制の強化、一人暮らし向け住宅の整備など、安心して暮らせる環境づくりへの要望が多く寄せられました。また、一人旅やビジネス客に対応できるホテル、眺望を活かした施設、交通拠点の整備など、観光と生活を結びつける取り組みも求められています。
- さらに、漁業権の見直しなど産業の持続可能性に関する意見、放置地の緑化や環境にやさしいエネルギーの推進、子どもが自然体験を通じて学べる仕組みづくり、聞こえない人への手話通訳体制整備など、幅広い分野で改善への期待が示されました。
- 「暮らしやすさ」と「観光の魅力向上」を両立させ、世代を超えて安心して暮らせる持続可能な鳥羽市を望んでいることが分かりました。

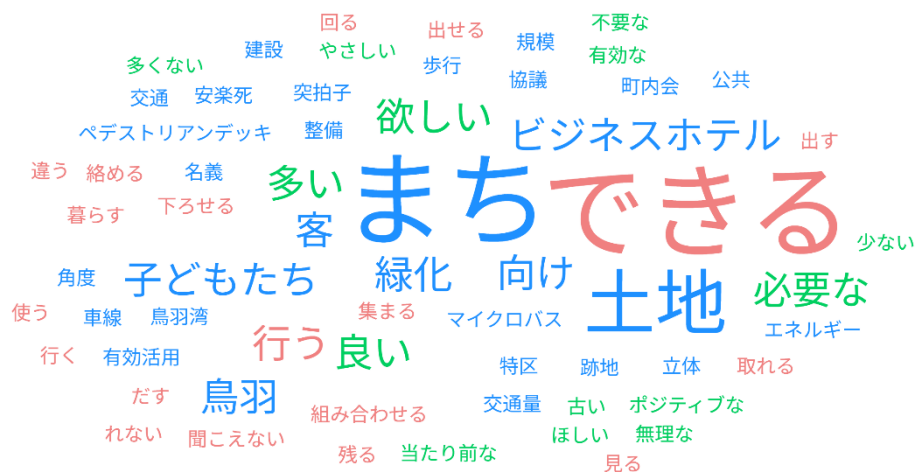
②理想に近づくためにどんな工夫や取り組みがあれば良いと思いますか？ （142件（うちポスターセッション122件））

- 理想に近づくためには「暮らしやすさと働きやすさを両立し、持続可能な地域をつくること」を重要視されています。
- 具体的には、子育てや教育の充実、若者や移住者の定着支援、産業の担い手確保と雇用環境の改善が求められています。
- あわせて、交通や医療、住宅、災害対策といった生活基盤の整備、離島を含めた医療・交通体制の強化も大きな課題とされています。
- また、観光については、体験型や交流型の観光を強化し、鳥羽駅周辺の整備や二次交通の充実を図ることで、市民と観光客の双方がにぎわう仕組みが期待されています。
- さらに、空き家の活用や環境にやさしいエネルギーの導入など、自然と共生する持続可能なまちづくりへの関心も示されています。
- 「子育てと教育の支援、産業と雇用の活性化、安心できる生活基盤、観光と地域の共生、環境に配慮した持続的発展」をバランスよく実現することが重要視されています。

市民会議等の意見（あなたの理想の鳥羽市はどんなまちですか）

- | | |
|----|--|
| 1 | 土地が有効活用されているまち。（放置しない） |
| 2 | マイクロバスみたいなのが、ぐるぐる回るやつがあるまち。 |
| 3 | 鳥羽に残りたいという若者がたくさんいる。 |
| 4 | エネルギーは地球にやさしく。（土地を有効に使おう。） |
| 5 | どこに行くにも車が必要。もう少し公共交通が欲しい。それが無理なら交通量の多い一車線の道の整備を。 |
| 6 | ある程度の規模の病院が欲しい。突拍子もないが、安楽死など世間で話題になっていることについて特区などになれば、違う角度から病院建設などができるのでは。 |
| 7 | 土地名義が町内会となっても緑化もしくは跡地活用の協議は必要。子どもたちが緑化を体験できる企画などして、教育と絡めても良いのでは。 |
| 8 | 歩行者が多くない中でペDESTリアンデッキは不要。駐車場を立体化し、店舗と組み合わせるなどして上から鳥羽湾を見下ろせるのは良いと思う。 |
| 9 | 一人旅、ビジネス客へ対応できるようビジネスホテルが必要。 |
| 10 | 老人たち（概ね60歳以上）は口出しせずに、お金だけだしてほしい。口だけ出す評論家が多いので、いろんな事業とかにはとりあえず協力してから、ポジティブな意見を出せるまちがいい。 |
| 11 | 漁業権の在り方を検討すべき。漁業者が少なくなる中でそれぞれの単協がやらず、市内どこでも権利を取れるような仕組みを。 |
| 12 | 一人暮らし向け住宅があるまち。家族向けばかり、古いところばかり |
| 13 | 聞こえない人が差別されないまち。近隣市町では当たり前に行われている手話通訳派遣が、鳥羽では行われていない。無資格者が平気でそれを行っている。 |
| 14 | ここに暮らす子どもたち、親たちがニコニコいきいきしているまち。 |
| 15 | バスやタクシー、旅館の送迎が一つに集まっていて、待ち時間に買い物とかができるエリアがある |
| 16 | ビジネスホテルが多いまち |

(参考) ワードクラウド



市民会議等の意見（理想に近づくためにどんな工夫や取り組みがあれば良いと思いますか？（１））

- 1 若者が少ないのでまち全体の活力が低下している。
- 2 「鳥羽中央学校」は変える必要があったのか。
- 3 離島の学校への通学費（乗船料）が高いので補助があるとうれしい。
- 4 小学校の支援員を増やしてほしい。（スクールカウンセラーなど）
- 5 手厚い保育士数
- 6 子育てについて、保育士が少ないのはわかるが、支援の質を厚くしてほしい。
- 7 子どもが多い分生活費が高いので補助があるとうれしい。
- 8 子どもの医療費の窓口払いを無くす。
- 9 人材不足で産婦人科が減っている。給与が低いので上がってほしい。
- 10 学校の制服は自由だとありがたい。
- 11 町の魅力をもっと伝えてほしい。
- 12 佐田浜（特にGS）は市が買うべき。
- 13 人口に見合った子育て支援の予算にすべき。
- 14 地域にお金が落ちるようにする。
- 15 ガリバー公園をきれいにしてほしい。
- 16 若い人向けのきれいなアパートがあれば良い。
- 17 担い手に困らないようにする。
- 18 浄化槽のコストが高いので、ハードルが下がると店を出しやすい。
- 19 個人ではなく、組織的な農業運営が必要。
- 20 漁師の人手不足。島外の人に来てほしい。
- 21 官民連携をもっと推進する。
- 22 企業を誘致して若者を増やす。
- 23 小さい会社はくっつけて大きくする。それには支援が必要。
- 24 市外からきて答志で漁師になっても本土で住んでいるので、漁師の住まいとして寮のようなものがほしい。
- 25 元々していた場所でお店を続けていきたい。お店がにぎわうと地域がにぎわう。
- 26 離島に来てもらいやすくするために、離島で食事をする駐車料金割引、ホテルに泊まるとクーポンが貰えるなど、仕組みがあってもいいのかなと思う。
- 27 ビジネスホテルを増やした方が良い。
- 28 式年遷宮のチャンスを活かすべし。
- 29 Uターン採用を進めよう。
- 30 元気な高齢者が働ける雇用を進める必要がある。
- 31 地域全体でUターンを促進していく。
- 32 働きたくなるホテルがある。

- 33 飲食店が重要なので、出店しやすいような支援が必要。
- 34 市民向けの離島めぐりをすることで、住んでみたくなる人がいるのではないか。
- 35 修学旅行がたくさん来ている。
- 36 鳥羽市のPRをもっとしてほしい。近くのイベントで鳥羽市をあまり見かけない。
- 37 質の高いホテルが多い、安いのもあっていいのでは。
- 38 鳥羽駅周辺にカフェなどが少ないので、欲しい。
- 39 楽市等に観光業者ももっと参加すると良い。他の地域（淡路島や那智勝浦、伊勢湾フェリーなど）からは参加しているのを見かけるが鳥羽市は見かけない。
- 40 漁師の魅力を伝えたい。
- 41 長く働き続けられる環境整備を。
- 42 Uターン支援をする。
- 43 大きい会社（工場など）があるといい。
- 44 働く外国人の定着が重要。
- 45 観光や漁師以外の職種を増やしてほしい。
- 46 車をハイブリッドにする。
- 47 イベントができる広場が多いといいな。
- 48 海を活かして若者が集まる施設が必要。
- 49 マリンターミナルにプールを作ってはどうか。
- 50 観光客ではない、一般の人が行きやすい工夫が必要。
- 51 廃ビルを建て直すのであれば、和風でインバウンドが増えるようにしては。
- 52 パールビルを壊してほしい。
- 53 鳥羽市で放課後デイサービスは満員で入れなかったため伊勢市まで送迎している。何度かお願いして週1回通っているが、もう少し長い時間開けてほしい。
- 54 地域とのつながりはあると思うが、今後続いていてほしい。
- 55 あっちこっちに行かないかんくって、施設やサービスを1つにまとめてほしい。
- 56 年金だけでは生活が難しい。
- 57 共生社会は大事だけど、精神病の人や外国の方など意思疎通の難しい人の対応が中々、、、。
- 58 鳥羽市に、障がいのある子どもがショートステイできるところがない。
- 59 長期休みの対応など、障がいのある子どもたちの支援を厚くしてほしい。
- 60 オンライン診療の促進。
- 61 伊勢市と連携！アクセスしやすいようにして。
- 62 台風のたびに駐車場が浸水し入れ替えたりするのが大変なので、機能性の高いものが欲しい。
- 63 危ない空き家を壊す。

市民会議等の意見（理想に近づくためにどんな工夫や取り組みがあれば良いと思いますか？（２））

64 移動販売車がフェリーに乗って離島に来てほしい。

65 小さい本屋さんがないとさびしい。

66 消防機関による救急搬送を離島でも本土並みにしてほしい。

67 免許返納の支援。（公共交通の充実）

68 住宅が見つからない。アパートやマンションのニーズは多いと思う。

69 駐車場に屋根を付けてほしい。海上保安庁のところ。

70 移動手段の問題。自動運転、空飛ぶ車。

71 便数を増やしてほしい。

72 空き家が多くなってきて危ないので、市が壊してほしい。

73 島から本土への緊急船が欲しい。

74 空き家になる前に人や市にあげられるようにしてほしい。

75 放置している空き物件に重税をかける。

76 離島に気軽に行きやすいように、市民向けに駐車場を無料にしてほしい。

77 平地にしやすいようにしてほしい。

78 道路の冠水対策。

79 答志島に本土とつながる橋を作ってほしい。

80 チャーター船は観光や暮らしに絶対必要。

81 バスの本数が少ない。

82 農地が放置されないような工夫が必要。

83 周りは草だらけ。農業する人材がたくさんおる方がええ。

84 洋上風力で儲けよう。

85 ごみ袋の料金が高いので、安い方が良い。

86 ソーラーパネルは見た目がどうなのか。自然豊かな鳥羽市に来てソーラーパネルがたくさんあってガッカリという言葉を知くとつらいので、ある程度規制を。

87 帰宅困難になった際に避難生活の質のために、町内会の運営が重要。

88 緊急の際の船の対応。+医者がいないなら対応を厚く。

89 年を重ねてから車を買うわけにもいかず移動が不便なので、自動運転や公共交通の充実が望み。

90 防災訓練をもっと自分ごと化してほしい。

91 見立てのできる医療関係者（特定看護師など）の常駐。

92 島に常駐の病院の先生がいてほしい。

93 島に医者がいない。

94 医者にも少なくとも週の70%くらいは島に常駐してもらう。

95 とにかく医者がおる！（わざわざ伊勢に行く、、）

96 昼は医者がおって、夜は少なくとも応急できるように！

97 ひだまり内科→昔耳鼻科があった、産婦人科なども、獣医さんは亡くなって後継者がいない、大病院は財政の問題はあるだろうけど、

98 リモート対応。

99 地域のことを知る！

100 市役所の中に食堂があると行きやすい。

101 市役所の活気が足りない。

102 廃屋は再利用とかせずに、更地で民間に売る。

103 公共施設で古くなったものは壊す。

104 キャッシュレス決済について、カードの利用はみんながみんな審査が通るわけではない。

105 デジタルをいっぱい使う。

106 休校施設の活用について行政が本腰をあげる。

107 休校施設の避難所+憩いの場としての活用。

108 空いた施設を市の介護施設にしたらどう？

109 経験者とかリターンとか採用枠を作って人材確保。

110 雷が怖い。

111 志摩市に倣って、平常時から各家庭の食料や衣類を避難所に保管しておく仕組みやそのためのロッカーが欲しい。

112 災害で島外に避難した時に感じたが、避難者を受け入れた島での支援が充実したらいいな。

113 快適に避難生活を過ごしたい。

114 防災備蓄は大切だ。

115 鳥羽駅のバス停がバラバラなので統一してほしい。

116 鳥羽駅周辺に立ちよりやすい工夫が必要。

117 パールビルの扱いは難しい。総合的な買い物の拠点にしては。

118 パールビルをつぶせないのであれば、プロジェクションマッピングなど、壊さずに活用できる方法を考えてみてはどうか。

119 個人での農業には限界がある。高齢化もすすんでいる。ほかの地域では会社として起業しているところもある。そういう取り組みをすすめてはどうか。

120 駅前に保育所を固めたりしたらええんちゃう 少ないところはもう無理やろ

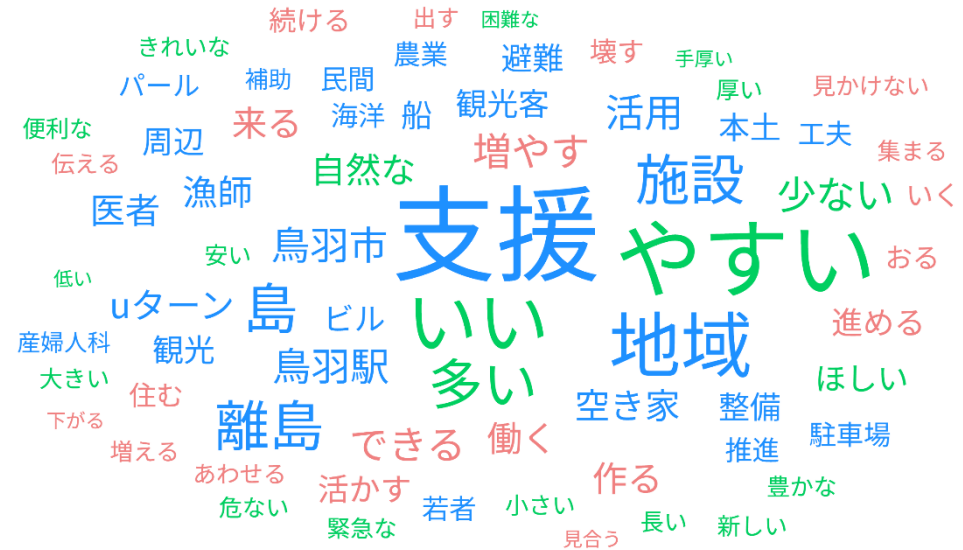
121 古くなった施設が官民間問わず多すぎる。作りすぎたくせその時代の恩恵をうけた老人たちはすぐに活用とか再整備とか抜かすけ。責任が全くない。聞く耳を持つ必要がない。次世代に向けて禍根を残さないように新しい整備は原則としてしないようにすべき。現存の施設はきれいさっぱりさせて売ればいい

市民会議等の意見（理想に近づくためにどんな工夫や取り組みがあれば良いと思いますか？（３））

122	民間投資がない自治体の未来はありません。民間投資を促す取り組みを最優先すべき。
123	市長はペDESTリアンデッキとかいうけど、交通量が少ないのにお金をいっぱいかけるほどほしいものじゃない。作るならマルシェの近くにカフェとかがあるといい。地元のカフェもいいけど、スタバとかもいい。
124	駅前のバスターミナルに旅館のバスとかタクシーとかかもめバスも全部あわせて集めればいいと思う。そうすれば待ち時間の人が増えるので、お店も出しやすいし、乗り換えも楽。
125	宿泊事業者に働く人が多いので、勤務の形態にあわせた保育所や託児所があると働きやすいと思う！
126	もう集落の人口が限界なので、例えば50人を下回ったり、高齢化率が75%を超えるような町や地域は、鳥羽駅のあたりや安楽島、池上あたりに移転させればいいのでは。それなら市営住宅も増やしていい。少ないとこのために道路や色んなサービスを維持し続けるのは全体のためにならん。かわいそうやけど
127	面白いので観光資源として活用してはどうか
128	移住や定住のハードルを下げるために、空き家を改修した安価な若者向け住宅を提供したり、初期費用を支援する制度をつくる。
129	UターンやIターンによる就職や起業を後押しする
130	災害リスクの高いエリアを避け、安全な場所に住むことを進めるような対策が必要
131	JR、近鉄、バス、定期船とかの交通手段が集まる鳥羽駅周辺に広場を設ける。乗り換えがスムーズになるし、観光客の移動が楽になり、滞在時間が延びる可能性がある。
132	鳥羽駅周辺を拠点に、観光客がより便利に市内を巡れるよう、レンタルサイクルを導入。移動のストレスを軽減する。
133	介護や福祉などの制度の狭間を埋める支援が必要。
134	「ブルーカーボン」や「海洋プラスチックごみ」対策を推進。自然と共生した持続可能な観光地を目指す。
135	伊勢志摩国立公園の豊かな自然を活かして海洋教育や研究を通じて、人と自然が共存する新しい価値をつくる
136	空き家を活用して地元住民が楽しめるイベントを定期的に開催。
137	観光客が市内を便利に周遊できる二次交通の整備も進める。
138	JRや近鉄との連携を強化し、都市部からのアクセスを改善する。
139	海洋教育プログラムを充実させ、子どもたちが海や自然に触れる機会を増やす。地域資源を活用した持続可能な学びの場を提供する。
140	デジタルや最新技術を導入し、生産効率を向上させるとともに、新たな高付加価値商品を開発。


141	水産加工業のブランド化を進め、ふるさと納税を推進する。
142	歴史的な海女文化と美しい景観を活かし、体験型観光を強化。独自のグルメやマリ ンアクティビティをアピールし、若い世代の誘致を図る。

(参考) ワードクラウド



市民アンケート

目 的	第六次鳥羽市総合計画並びに前期基本計画の進捗を測るとともに、後期基本計画の策定にかかる基礎資料とする。
調査方法	アンケート調査票の配布（市内在住18歳以上の方を対象に無作為抽出した2000件） 市ホームページでの掲載、市広報への掲載、市公共施設への設置、SNSを活用した周知、街頭ヒアリングほか
回答方法	アンケート調査票の郵送による回答 オンラインフォームへの回答（ https://logoform.jp/form/zFmw/1045268 ）
調査期間	令和7年6月1日（日）～令和7年6月30日（月）
回 答 数	615件（うちWeb102件程度）
調査内容	1.地域への愛着度 2.住みやすさ 3.定住意向とその要因 4.広報利活用度 5.市職員への印象 6.施策別満足度・重要度 7.力を入れてほしいまちづくり分野 8.2040年に向けたまちづくりについて 9.防災のまちづくりについて 10.基本属性

 結果は「第六次鳥羽市総合計画に関するアンケート調査結果報告書」のとおり